





第7回定例会 一般質問登壇順

登壇順番	議席番号	氏名
1	8	高橋 宏
2	2	真嶋 実
3	6	唐仁原 俊博
4	3	普本 歌織
5	4	中村 ひとみ
6	1	北村 嗣雄
7	11	刈田 敏

議 長	事務局長	局 員	受 付	受理番号	4 番
				通 告 書 受理月日	令和 6 年 2 月 13 日 午前・ 午後 3 時 30 分

令和 6 年 3 月 第 7 回西和賀町議会定例会 一般質問通告書

令和 6 年 2 月 13 日

西和賀町議会議長 高 橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 8 番 高 橋 宏







次の通り通告します。

質 問 項 目	質 問 要 旨	答弁を 求める者
1 防災体制について	<p>陸羽地震 1896 年（明治 29 年）から 128 年、能登半島での地震を見るまでもなく、日本ではどこでいつ地震が起きても不思議ではない状況となっている。近年ではたびたび繰り返される風水害など自然災害の脅威は増すばかりである。そこで西和賀町における防災体制について伺います。</p> <p>(1) 広域応援体制について</p> <p>① 災害時における県内自治体との相互応援協定が確立されていることは把握しているが、県外自治体、特に横手市との協定等協力体制はどうなっているか。</p> <p>② 常備消防における県内での相互応援・緊急援助体制については上記と同様と思うが、横手市等県外との協力体制はどうなっているか。</p> <p>③ 給水車の派遣協定などの状況はどうか。</p> <p>④ 医療体制の協力、特に透析患者への対応は構築されているか。</p> <p>(2) 町内の対応について</p> <p>① 備蓄品はどこにどの程度配備されているか。</p> <p>② 自主防災組織の訓練状況はどうなっているか。</p> <p>③ 防災マップの活用状況は。</p> <p>④ 消防団活動において全国的に防災面での訓練活動等にシフトされてきていると思っているが、本町における今後の消防活動はどう検討しているか。</p>	町 長

2 枚のうち 1 枚目

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
2 農業政策について	<p>今農家はかつてないほどの資材・燃料の高騰、農業生産物の価格据え置きで経営難となっており、加えて水田交付金の見直しが発表された中で令和6年度中には「地域計画」の策定が求められている。このような中での町の農業政策の取組について伺います。</p> <p>(1) 令和5年度県要望に係る県の取組状況に対する町の対応策について</p> <p>① 交付金減少による耕作放棄地への対応。</p> <p>② 畑地化をした場合の転作作物（大豆・そば）への支援。</p> <p>③ 水田活用の永年性牧草について、交付金減少等の制度変更による農家への対応。</p> <p>④ リンドウ、わらび、アスパラガスの作付け対応。</p> <p>(2) 町の農業振興策について</p> <p>① 交付金対象農地の確認状況は。</p> <p>② 水稻直播栽培への取組は。</p> <p>③ ホールクroppサイレージ用稲の栽培の支援策は。</p> <p>④ 畜産農家に対する飼料、肥料、資材高騰対策は行われたが、最近の子牛価格下落への対応策は検討されているか。</p> <p>⑤ 物流に関する2024年問題への対応策は。</p>	町 長

議 長	事務局長	局 員	受 付	受理番号	3 番
				通 告 書 受理月日	令和 6 年 2 月 13 日 午前・ <u>午後</u> 2 時 00 分

令和 6 年 3 月 第 7 回西和賀町議会定例会 一般質問通告書

令和 6 年 2 月 13 日

西和賀町議会議長 高 橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 2 番 真 嶋 実






次の通り通告します。

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 後期高齢者医療費 と健康診査受診率 について	<p>岩手県後期高齢者医療広域連合議会 議員研修資料「令和 4 年度岩手県後期高齢者医療の概要」によると、西和賀町の一人当たりの医療費は県内一位で 925,639 円（県平均 774,364 円）となっている。一方で健康診査受診率（対象者比）は 8.84%（県平均 29.10%）と県内最低である。</p> <p>(1) 西和賀町は保健医療施策の先進地と認識しているが、町ではこの数字をどうとらえているか。</p> <p>(2) また、後期高齢者以外の世代における健康診査受診率と一人当たりの医療費を把握し分析しているか。</p>	町 長
2 「西わらび」の農 林水産省・地理的 表示（G I）保護 制度登録と今後の 振興策について	<p>当町特産の「西わらび」が、地域の特性を生かした農産品のブランドを守る農林水産省の地理的表示（G I）保護制度に 1 月 29 日に登録された。各種の報道でも取り上げられ今後のさらなる飛躍に期待するところである。</p> <p>「西わらび」振興について、生産振興と販売強化の 2 つの視点から今後の具体的な振興施策を伺う。</p>	町 長

3 枚のうち 1 枚目

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
3 「こども家庭センター」の設置と次期「子ども・子育て支援事業計画」策定について	<p>過日開催された「住民の声を聴く会」では、保育所・園 保護者会の皆さんと意見交換が行われ、子育て支援の多様なあり方について、町への期待と要望が寄せられた。</p> <p>日曜日や急遽の対応ができるフレキシブルな一時保育、普段の生活環境に出向く訪問型育児ケア、地域型保育・家庭的保育など保育所（園）以外の保育サービスを取りこんだ子育て支援における「包括支援」の重要性を強く感じた。</p> <p>(1) 「第二期子ども・子育て支援事業計画」では「令和3年度の子育て世代包括支援センターの開設を目指す」との具体的記述があるが、これまでどのような取組がされてきたか。すでに令和5年度も終わろうとしているが、方針は変更されたのか。</p> <p>(2) 子ども家庭庁では令和6年にはこれまでの「子育て世代包括支援センター」を「こども家庭センター」と改めるとし、第2次西和賀町総合計画の基本施策には具体的施策の取組み方向として「子ども家庭センターの設置を検討します」としている。名称変更にともない、どのような制度変更があり、町ではどのような対応を行うのか。</p> <p>(3) 昨年12月、西和賀町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例が可決された。「第二期子ども・子育て支援事業計画」では、特定教育・保育施設等について「需要動向をみながら、事業実施について検討」との方針が示されているがこの間どのような対応がされているか。</p> <p>(4) 「第二期子ども・子育て支援事業計画」は令和6年度で5か年計画の最終年度をむかえるが、年度ごとの検証と評価は行われているか。次期計画に向け、組織横断的な対応が必要と考えられるが計画策定に向けての町長の考えを伺う。</p>	町 長 教 育 長

議 長	事務局長	局 員	受 付	受理番号	3 番
				通告書 受理月日	令和 6 年 3 月 1 日 午前 午後 8 時 30 分

令和 6 年 3 月 第 7 回西和賀町議会定例会 一般質問通告書

令和 6 年 3 月 1 日

西和賀町議会議長 高 橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 2 番 真 嶋 実



次の通り通告します。

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
4 町長施政方針演述 について	<p>○ 7 ページ「保育所あり方検討委員会報告」について 町長は施政方針演述において「令和 5 年 11 月に西和賀町保育所あり方検討委員会から報告を受けた検討結果に基づき、町の考えを示し、保護者等説明会などを開催し意見等を伺い、今後のあり方をまとめます。」と述べている。</p> <p>(1) 「保育所あり方検討委員会」について、その立ち上げから検討結果の報告まで、その内容をどのように開示し、また町民に周知してきたか。</p> <p>(2) 保育については令和 5 年 3 月の町長施政方針演述では「ゼロ歳児保育も含め 今後の保育環境のあり方について検討を進めます。」と述べているが、この点についてどのような検討がされたのか。検討結果を踏まえ令和 6 年度の施策の考えを具体的に伺う。</p>	町 長 教育長

3 枚のうち 3 枚目

議 長	事務局長	局 員	受 付	受理番号	7 番
				通 告 書 受理月日	令和 6 年 2 月 14 日 午前・ 午後 1 時 00 分

令和 6 年 3 月 第 7 回西和賀町議会定例会 一般質問通告書

令和 6 年 2 月 14 日

西和賀町議会議長 高 橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 6 番

唐仁原 俊 博



次の通り通告します。

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 行政のDX（デジタルトランスフォーメーション）、行政からの情報発信について	<p>町は平成 30 年 3 月に策定された第 3 次西和賀町行政改革大綱にもとづき行政改革に取り組んでいる。</p> <p>(1) 行政改革大綱を策定した経緯や基本方針から照らして、行政改革は適切に進められているか、認識を伺う。</p> <p>(2) 重点推進事項の項目 1「行政の効率化」の(1)「業務改革の推進」には、具体的取組として、①事務事業のスリム化、②事務手続きの簡略化、③DXの推進、④団体等の事務局事務の見直し、⑤町民の意見集約、が掲げられている。それぞれの取組に対して、現状の達成状況と今後の見通しはどうか。</p> <p>(3) 協働のまちづくりを推進するにあたって、行政が持つ情報のデジタル化、オープン化を進めること、情報公開の即時性を高めることが欠かせないが、認識を伺う。</p> <p>(4) 行政からの情報発信について、DXと関係あるなしにかかわらず、改善のために何らかの取組は予定されているか。</p> <p>(5) 町公式ホームページについて、現行のシステムを使い続けるにしても、改善する余地があるが、現在、町公式ホームページについて、当局内で議論されていることはあるか。</p>	町 長

3 枚のうち 1 枚目

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 行政のDX（デジタルトランスフォーメーション）、行政からの情報発信について	(6) 行政のDXやホームページなどの情報発信について、協働のまちづくりの視点から、住民の意見を拾うだけでなく、住民も参加する勉強会を行うなど、より積極的に住民を巻き込むための取組があってもよいのではないか。	町 長
2 西和賀町内におけるDXについて	<p>令和3年、岸田文雄内閣総理大臣はデジタル田園都市国家構想を発表した。このなかで「デジタル実装を通じて地方が抱える課題を解決し、誰一人取り残されず、全ての人々がデジタル化のメリットを享受できる心豊かな暮らしを実現する」と述べている。</p> <p>(1)各地方公共団体の意欲的な取組を支援するため、「デジタル田園都市国家構想交付金」（デジ田交付金）が創設された。町におけるデジ田交付金の活用状況はどうか。</p> <p>(2)デジタル化やDXを進めていく上で、デジタルスキルを持つ人材（デジタル人材）は欠かせない。町内においても、デジタル人材の育成が急務だと考えるが、何らかの取組は予定されているか。</p> <p>(3)デジタル人材については町内での育成だけでなく、町外からの招聘も視野に入れていいのではないか。</p>	町 長
3 ユキノチカラプロジェクトについて	<p>(1) 本年2月1日より東京・上野に地域ブランド「ユキノチカラ」のポップアップストアを展開中である。どのような経緯で実施に至ったのか。また、現時点での反響や手応えはどうか。</p> <p>(2) 来年度、「ユキノチカラ」について、町としてどのように関与する方針か。</p>	町 長
4 県立西和賀高校について	<p>(1) 来年度の志願状況はどうか。</p> <p>(2) 県外から入学志望者を受入れる、いわゆる「ふるさと留学」について、町は本年度より本格的に取り組んでいる。町内、及び町外からの生徒募集について、町の本年度の取組をどのように評価するか。</p>	教育長

議 長	事務局長	局 員	受 付	受理番号	7 番
				通 告 書 受理月日	令和 6 年 3 月 / 日 <u>午前</u> ・午後 8 時 30 分

令和 6 年 3 月 第 7 回西和賀町議会定例会 一般質問通告書

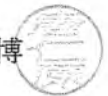
令和 6 年 3 月 1 日

西和賀町議会議長 高 橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 6 番

唐仁原 俊 博



次の通り通告します。

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
5 町長施政方針演述 について	<p>○ 5 ページ「川をいかしたまちづくり事業」の環境整備後について</p> <p>施政方針演述において、「川をいかしたまちづくり事業」が取り上げられた。</p> <p>環境整備後の活用に向けたソフト事業の実施、人材育成などに取り組むとのことだが、現時点ではどのようなことが計画・検討されているか伺う。</p>	町 長

3 枚のうち 3 枚目

議長	事務局長	局員	受付	受理番号	6 番
				通告書 受理月日	令和 6 年 2 月 14 日 午前・午後 10 時 30 分

令和 6 年 3 月 第 7 回西和賀町議会定例会 一般質問通告書

令和 6 年 2 月 14 日

西和賀町議会議長 高橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 3 番 普 本 歌 織







次の通り通告します。

質問項目	質問要旨	答弁を 求める者
1 今後の教育環境のあり方について	<p>(1) 保育所・保育園のあり方について、保育所あり方検討委員会の答申では、「保育所・園は統合するのが望ましく、そのうえで新たな施設を整備する必要がある」とのことである。</p> <p>① 「児童を送迎する距離が長くなるなど不便を強いられる利用者も生じることから、できるだけ負担を少なくする方策を講じることを望む」とあるが、現段階でどのような方策が考えられるか。</p> <p>② 同じく、「統合後の保育施設の活動がより良いものとなるように充実した保育サービスが提供されることを望む」とあるが、現段階でどのようなサービスが考えられるか。特に、ゼロ歳児保育実施の考えがあるか。</p> <p>③ 小学校、または中学校の近くに整備することにより、どのような互いの育ちを期待できるか。</p> <p>④ 新たに施設を整備するにあたっては、誰が、どのように進めていくのか。特に、現場の保育士の意見を取り入れる考えはあるか。</p> <p>(2) 保育施設が住まいから遠くなる利用者が増え、「子どもを一定期間、預けないで家庭で保育したい」「預けたいが送迎は誰かにお願いしたい」など、多様なニーズが顕在化することが考えられる。</p>	町長 教育長

4 枚のうち 1 枚目

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 今後の教育環境のあり方について	<p>① 平成 31 年に行った保育のニーズ調査（第二期子ども・子育て事業計画）では、回答者の 1 割超がニーズとして「ファミリーサポートセンター」を挙げているが、この検討は行ったか。</p> <p>② 子育ての様々な困りごと、相談に応じられる可能性のある「子ども家庭センター」の検討状況は。</p> <p>(3) 不登校児童・生徒への対応について</p> <p>① 不登校の状態になった児童・生徒に対してどのように支援しているか。</p> <p>② どんな子どもにも教育の機会が与えられる必要がある。学校以外の子どもの学習の場や、居場所についての検討はされているか。</p> <p>(4) 令和 5 年 12 月議会での答弁で、保育所・園と小中学校それぞれのあり方検討委員会の答申が出た後、町全体の教育環境のあり方の考えを町民に説明するとのことだったが、「説明」ではなく「意見を聞く場」にする必要があると考えるが、いかがか。</p>	町 長 教育長
2 会計年度任用職員の待遇改善について	<p>(1) 会計年度任用職員はどのような職種で募集・採用しているか。</p> <p>(2) 原則 1 年の雇用であると考え、継続雇用が望まれる職種の考え方を伺う。</p> <p>(3) 保育士など資格が必要な職種、調理員など資格があれば尚良しとされている職種もあるが、そういった職種に有資格者を採用した場合、資格手当は支払われているのか。</p> <p>(4) 原則一年の採用であるが、募集しなおせば繰り返し同じ人を採用することが可能である。正規に採用された場合と給与面で大きな違いが出てくると思われるが、このことをどう考えるか。また、改善策はあるか。</p> <p>(5) 会計年度任用職員については、経験年数等に応じて正規職員として採用できる等、制度について検討が必要と考えるがいかがか。</p>	町 長

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
3 除雪の業務委託について	<p>冬期の除雪事業で貝沢基地、長瀬野基地、中村基地が業務委託になった。</p> <p>(1) 委託事業者と町は除雪を進めるにあたり、どのように連携をとっているか。また町で除雪状況の点検や見回りを行ったか。</p> <p>(2) 今期が初めての全面委託であるが、安定的に除雪ができていたかなどの総括はどのように行うのか。また次年度にどう生かすのかを伺う。</p>	町 長

議 長	事務局長	局 員	受 付	受理番号	6 番
				通 告 書 受理月日	令和 6 年 3 月 / 日 <u>午前</u> ・午後 8 時 30 分

令和 6 年 3 月 第 7 回西和賀町議会定例会 一般質問通告書

令和 6 年 3 月 1 日

西和賀町議会議長 高 橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員





議席番号 3 番 普 本 歌 織



次の通り通告します。

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
4 町長施政方針演述 について	○ 2 ページ「人口減少は引き続き本町が抱える諸課題の主因 である」について (1) 人口減少の加速を少しでも緩やかにするためには、若い 世代が住みよい環境が必要であるが、若い世代が定住でき るためには何が必要であると考えているか。また、その方策は。 (2) 子育てしやすい環境のための方策をどのように考えて いるか。	町 長
5 教育長教育方針演 述について	○ 5 ページ「主体的に取り組む態度を育てる」について I C T 機器の充実と活用、指導主事の派遣などが方策とし て挙げられているが、これらを通してどのように主体的に取 り組む態度を育てるのか。	教育長

4 枚のうち 4 枚目


議 長	事務局長	局 員	受 付	受理番号	2 番
				通 告 書 受理月日	令和 6 年 2 月 13 日 午前・午後 8 時 30 分

令和 6 年 3 月 第 7 回西和賀町議会定例会 一般質問通告書

令和 6 年 2 月 13 日

西和賀町議会議長 高 橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 4 番 中 村 ひとみ 

次の通り通告します。

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 西和賀町教育行政の基本方針について	<p>未来を担う子どもたちの生きる力を育む学校教育における地域愛を育てる教育について伺う。</p> <p>(1) 2月5日に開催された湯田中学校生徒による中学生議会では、湯田中学校と沢内中学校の生徒間交流を増やすべきではないかという一般質問がされた。 学務課長の答弁によると、運動会や発表会、今回開催された湯田中学生による中学生議会など学習面でも合同で行えることもあるし、小学生の交流も重視、小中学校で交流できるよう環境整備をしていきたい旨の内容だった。 交流を深めるためには互いの生活環境や自然、歴史、伝統、文化を理解し合うことが大事だと考えるが、どのようにして実現または情報共有されているか伺う。</p> <p>(2) お互いに行き来して見たり聴いたりするのが理想的だが、距離的な面で難しいことから、ICTを活用した交流を取り入れてはどうか。移動時間を考慮せずとも発表会や意見交換、地域の紹介などが容易にでき、また国際交流も可能であると考え。</p>	教育長

2 枚のうち 1 枚目

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 西和賀町教育行政の基本方針について	<p>(3) 本町は自然環境に恵まれ、多様な動植物の存在や季節の移り変わりを五感で体験できる。自然に触れることで様々な発見や疑問、考える力や探求心が育まれ感性も豊になる。楽しい、ワクワクするという感覚は、地元への愛着心につながると考える。本町の豊かな自然が子どもたちへの教育にどのように生かされているか伺う。</p> <p>(4) 中学生議会において、学務課長の答弁の中で、英語教育に注力していくとの答弁があった。インバウンド（訪日外国人旅行）誘致のPRや英語ガイド、または地元ガイドなど児童生徒の能力を生かす取組は地域愛を育むという点からも有意義と考えるがいかがか。</p>	教育長
2 沢内地区の観光振興について	<p>沢内というと農業というイメージが強いが、沢内地区には人気のカタクリ群生地や蛭山の水芭蕉群生地、志賀来の氷瀑、弁天島に加え自然の観光スポットが多く存在する。</p> <p>昨年の11月、沢内観光協会により看板が設置された川舟カルデラや、泉沢地区の高田沢山が、自然に癒しを求め絶景を楽しみたいという今の観光客のニーズに合った場所で訪れる人が増えている。</p> <p>(1) 西和賀町観光協会は、川に例えれば本流であり本町の観光情報を網羅し町外からの問い合わせにも対応していると認識している。</p> <p>沢内地区には沢内観光協会が存在するが、あくまでも支流であり、本流の情報発信や支援が必要であると考えます。</p> <p>特に、町の天然記念物にしても不思議ではないと考える「川舟カルデラ」や登山者に人気の「高田沢山」を本町の主要な観光スポットに加えPRしていくべきと考えますがいかがか。</p>	町 長


議 長	事務局長	局 員	受 付	受理番号	5 番
				通 告 書 受理月日	令和 6 年 2 月 14 日 <u>午前</u> ・午後 9 時 00 分

令和 6 年 3 月 第 7 回西和賀町議会定例会 一般質問通告書

令和 6 年 2 月 14 日

西和賀町議会議長 高 橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員



議席番号 1 番 北 村 嗣 雄 

次の通り通告します。

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 堆肥センターの運営について	<p>堆肥センターは、畜産農家が排出する産業廃棄物(糞尿等)の処理と堆肥づくりに欠かせない施設である。しかし、堆肥センターの運営当初と比較し、近年では畜産農家の廃業、また飼育頭数も減少傾向であり、堆肥センターの利用農家も減少している。堆肥センターについては、町が出資する第三セクターである(株)山の幸王国が運営し、町が(株)山の幸王国に対する事業運営補助金として毎年助成しているが、次の事項について所見を伺う。</p> <p>(1) 堆肥センターにおける施設の統合や運営方針等今後のあり方についての検討状況、方針を伺う。</p> <p>(2) (株)山の幸王国に対する事業運営補助金等について</p> <p>① これまでの事業経営の実態を把握するための検証は行っているか。</p> <p>② 今後の補助金、また修繕・維持管理費等のあり方についての考えを伺う。</p>	町 長

2 枚のうち 1 枚目

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
<p>2 主要地方道盛岡横 手線（県道1号） の工事について</p>	<p>○若畑地区内における歩道設置について</p> <p>町の主要幹線である県道1号の若畑地区において、未だに歩道の整備がされていない。当該路線は盛岡市と秋田県横手市を結ぶ重要路線であることから大型車両等の交通量が多く、若畑地区の住民からは歩道整備を含む安全対策が望まれている。</p> <p>このことに関し、町では岩手県に対して要望するなど整備促進について働きかけていると認識しているが、次の事項について伺う。</p> <p>(1) 当該箇所の県要望に対する県の回答はどのような内容か伺う。</p> <p>(2) 当該箇所については、地区住民も歩道整備を強く望んでいるが、県要望の回答を踏まえ、今後の町の対応をどのように考えているのか伺う。</p>	<p>町 長</p>

議長	事務局長	局員	受付	受理番号	/ 番
				通告書 受理月日	令和 6 年 2 月 9 日 午前・ <u>午後</u> 4 時 30 分

令和 6 年 3 月 第 7 回西和賀町議会定例会 一般質問通告書

令和 6 年 2 月 9 日

西和賀町議会議長 高橋 雅一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 11 番

刈田 敏



次の通り通告します。

質問項目	質問要旨	答弁を 求める者
1 DXの推進について	<p>デジタル技術を活用し、新しいサービスの提供等で社会制度を変革していこうとするDX（デジタルトランスフォーメーション）については、令和4年6月「デジタル社会の実現に向けた重点計画」が閣議決定され、このビジョンの実現のためには、住民に身近な行政を担う自治体、とりわけ市区町村の役割は重要と言われている。</p> <p>デジタル技術やAI（人工知能）等の活用により人的資源を行政サービスのさらなる向上につなげていくことが求められている。西和賀町においてもDXを推進実践しているところであるが現状と今後について伺う。</p> <p>(1) 西和賀町が実践しているデジタル技術の利活用の状況と今後の取組について伺う。</p> <p>① 産業面の活用について ② 保健、医療面の活用について ③ 教育面の活用について</p> <p>(2) DXを進めるうえで必要不可欠である携帯電話不感地域の実態はどのようになっているか、またその対策についての考えを伺う。</p> <p>(3) 町として人口減少に対して今後期待されるDXの利活用をどのように考えているのか伺う。</p>	町長 教育長

2枚のうち 1枚目

質 問 項 目	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
2	<p data-bbox="496 253 1286 573">令和2年10月に政府は2050年までに温室効果ガスの排出を排出量から吸収量と除去量を差し引いた合計をゼロにする「カーボンニュートラルを目指す」ことを宣言した。このことは、持続可能な未来を築くために取り組むべき重要なことであると同時に、本町のような山林面積の多い地域にとっては、森林を生かし新たな産業の振興へつながるものと思うが、町としての考えを伺う。</p> <p data-bbox="496 633 1286 763">(1) 林業に対する経済面について、地域の特性等に応じ、暮らしの質を高めながら脱炭素に取り組む脱炭素先行地域づくり事業の取組を進めてはどうか。</p> <p data-bbox="496 824 1286 909">(2) 教育面から町民に対し、学習の一環として取り組んでいくことが重要と思うが考えを伺う。</p>	町 長 教育長